

武庫川の豊かさを
より感じられるまちへ



(仮称) 武庫川周辺阪急新駅 エリア
まちづくりビジョン

2024年(令和6年)7月
尼崎市

はじめに

(仮称)武庫川周辺阪急新駅の周辺は、阪神間の都市部にありながら、良好な自然景観が残る住宅エリアであり、西側に阪神間随一の規模を誇る武庫川及び河川敷緑地があり、ウォーキング、サイクリング、スポーツ等での利用がさかんに行われています。

また、エリア内には武庫川を水源に、水路・農地が広がり、本市の尼崎市都市計画マスタープラン(立地適正化計画)においても当エリアは「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」に位置づけられており、落ち着いた住環境を形成しています。人口については、若者等の単身世帯の流入はあるものの、子育て世帯の転出が超過する傾向にあり、全市的な傾向と同様となっております。

新たな鉄道駅の設置は交通の利便性が向上するだけでなく、駅を中心に周辺地域の社会基盤整備を進め、駅周辺の土地利用等を誘導・再生することにより都市の持続可能な発展に寄与します。

今後、全国的にも少子化、高齢化による地域の活力低下が懸念される中、子育て世帯の定住転入や、地域交流の促進を目指すため、これからのエリアのまちづくり方針として、誰もがまちにおでかけしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行っていくことで、武庫川の豊かさを感じながら、より健康的に豊かに暮らせるまちづくりを進めて行く必要があります。

(仮称) 武庫川周辺阪急新駅 エリアの特色・課題

【人口】

- ・若者世代の流入、子育て世帯の転出傾向がある

【交通】

- ・車の交通は、西宮方面等へ向かう通過交通が多い
- ・路線バスの運行はあるが、便数が少ない
- ・鉄道駅(阪急武庫之荘駅等)まで距離があり、一部が公共交通空白地帯
- ・通過交通のエリア外への誘導や小学校通学路の安全対策が課題

【施設・交流】

- ・スーパーやクリニックなどの生活利便施設が少ない
- ・交流できる施設がなく、地域の活動やコミュニティの場づくりが行いにくい

【環境・安全】

- ・良好な自然景観が残っており、都市農地等の保全も重要
- ・武庫川河川敷緑地へアクセスしにくい
- ・武庫川の洪水浸水想定区域内であり、防災面での視点も必要



(仮称) 武庫川周辺阪急新駅に期待すること・心配すること

【新駅に関するアンケート調査(令和4年度実施)】

新駅が設置された場合に期待することとして、「交通利便性の向上」が特に多くのご意見をいただきました。

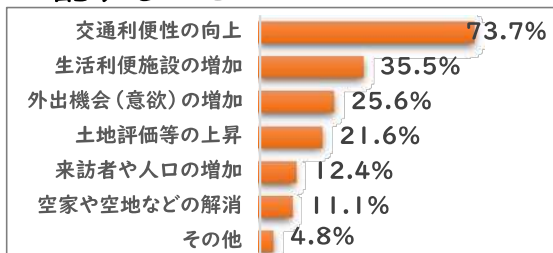
また、新駅が設置された場合に心配なことは、「交通量の増加」、「放置自転車」「治安や防犯」の順で回答が多くありました。

【えきまちづくり勉強会(令和5年度実施、全4回)】

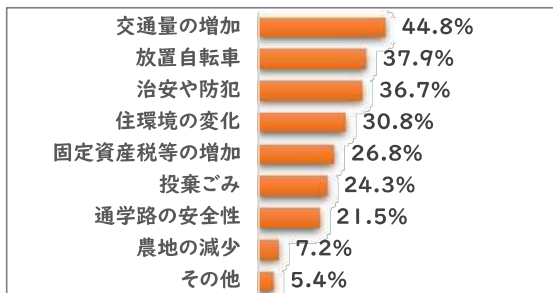
まちづくりを考える勉強会を開催し、「鉄道駅周辺のまちづくり」や「えきづくり・まちづくり」「交通・安全」「公園緑地など公共空間での過ごし方」の4つのテーマについて、講師からの事例紹介と参加者による意見交換を行いました。

<主な意見>

- ・武庫川、緑、閑静な住宅地と利便性の両立
- ・子育てがしやすく、便利で活気のある街
- ・生活利便施設、文化・医療施設等が欲しい
- ・歩きやすく安全な道路
- ・駅前の空間でゆっくり過ごしたい



新駅が設置された場合に期待すること(R4アンケートより)



新駅が設置された場合に心配なこと(R4アンケートより)

まちづくりビジョン(詳細は次面に記載)

エリアの課題、地域住民の意見等を踏まえ、新駅の設置を主軸とした目指す街のビジョンを定めます。

「これからも憩い、豊かに暮らせるまちづくり ~地域交流を促進し、人が“つどう”まち~」

まちづくりビジョン：これからも憩い、豊かに暮らせるまちづくり ～地域交流を促進し、人が“つどう”まち～

まちづくりビジョンの考え方

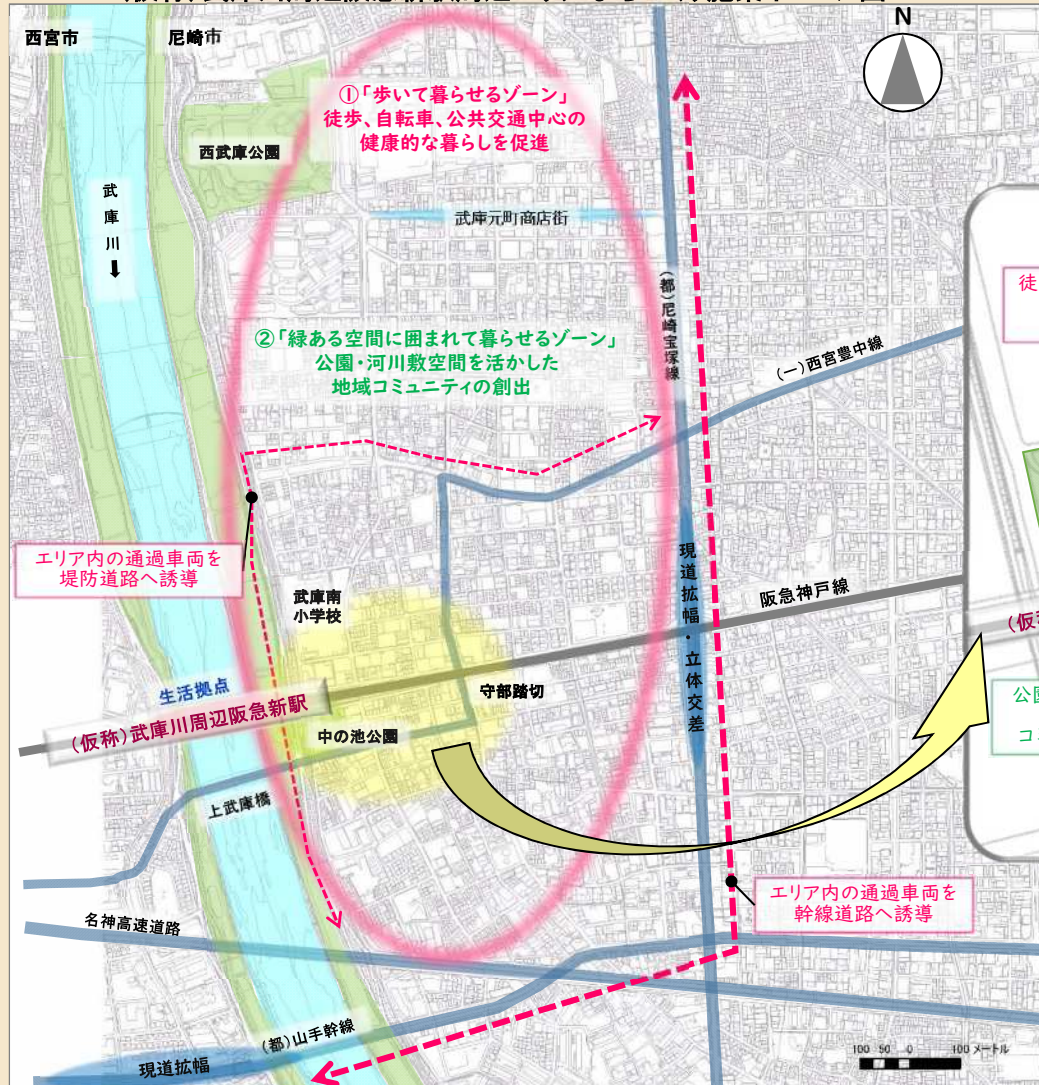
(仮称)武庫川周辺阪急新駅周辺エリアは、都市機能誘導区域に準じる区域として「生活拠点」(※尼崎市都市計画マスタープラン(立地適正化計画))として位置づけ、「交通利便性を高め、良質な生活空間の形成を図る」区域としてまちづくり施策を展開していきます。

当地区は「歩いて暮らせるゾーン」かつ「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」(※)に位置づけており、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を活かしながら、「生活拠点」としてまちづくり施策を進め、誰もがまちにおでかけしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行うことにより、憩い、豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。

まちづくり施策

- ①「歩いて暮らせるゾーン」として、ウォーカブルな(歩きたくなる)まちづくりを展開します。
→徒歩、自転車、公共交通中心の健康的な暮らしを促進
- ②「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」として、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を生かしたまちづくりを展開します。
→公園・河川敷空間等を活かした地域コミュニティの創出

(仮称)武庫川周辺阪急新駅周辺エリア まちづくり施策イメージ図



主な周辺整備イメージ図

※詳細は今後変更・追加する可能性があります

